

■ モデル事業実施状況(H25~26)

1 指定教育ステーション（5か所）

ステーション名	開設者	所在地
白十字訪問看護ステーション	株式会社 ケアーズ	新宿区
訪問看護ステーションみけ	有限会社 ふれすか	墨田区
あすか山訪問看護ステーション	公益財団法人 日本訪問看護財団	北区
板橋区医師会高島平訪問看護ステーション	公益社団法人 板橋区医師会	板橋区
山の上ナースステーション	株式会社 ラピオン	日野市

2 実施状況（平成26年12月まで）

■ ステーション体験・実地研修の受け入れ状況(5か所合計)

	平成25年度(11~3月)		平成26年度(4~12月)		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
他ST勤務者	39人	112日	73人	212日	112人	324日
医療機関	17人	33日	66人	129日	83人	162日
離職者	16人	32日	21人	59日	37人	91日
その他			7人	23日	7人	23日
計	72人	177日	167人	423日	239人	600日

【その他の取組】

地域での勉強会等の開催（39回 1,230人）／地域のステーションからの相談に対する対応等

■ 体験生からの主な意見等

	体験直後のアンケートでの主な意見等
他ST勤務者	<ul style="list-style-type: none"> ○実務の面での学び <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ならでは、必要最小限のものでの効果的なケアの工夫 ・書類の整備やITの上手な活用方法 ・ご利用者や家族とのかかわり方、コミュニケーションの取り方 ○本人の意識や姿勢の面での気づき <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間の情報共有の大切さ ・介護保険事業のひとつにはとどまらない、訪問看護の地域での大きな役割 ・管理者としての役割や姿勢
離職者	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問看護に対する印象の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・一人でやる印象からチームであることの気づき ・看護の原点が詰まった訪問看護に興味を持った ・現場が個人宅のためその実際に触れることができる機会は貴重。復職の参考になった。
医療機関勤務者等	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養のイメージがつかめた <ul style="list-style-type: none"> ・入院中では知りえない、患者さんの自宅での表情、家族の状況を知れた ○退院支援、患者や家族との関わり方への意識の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・症状のみを見て、患者の全体(地域に戻って生活があること)を見れていなかった ・急性期の段階から、退院後の生活を想像し支援することの重要性 ・医療の押し付けでなく、患者、家族の気持ちを確かめていくことの重要性 ○訪問看護への興味となった <ul style="list-style-type: none"> ・いずれ訪問看護師になりたい、理想像の訪問看護師に出逢えた

■ 平成27年度事業概要(案)

1 目的

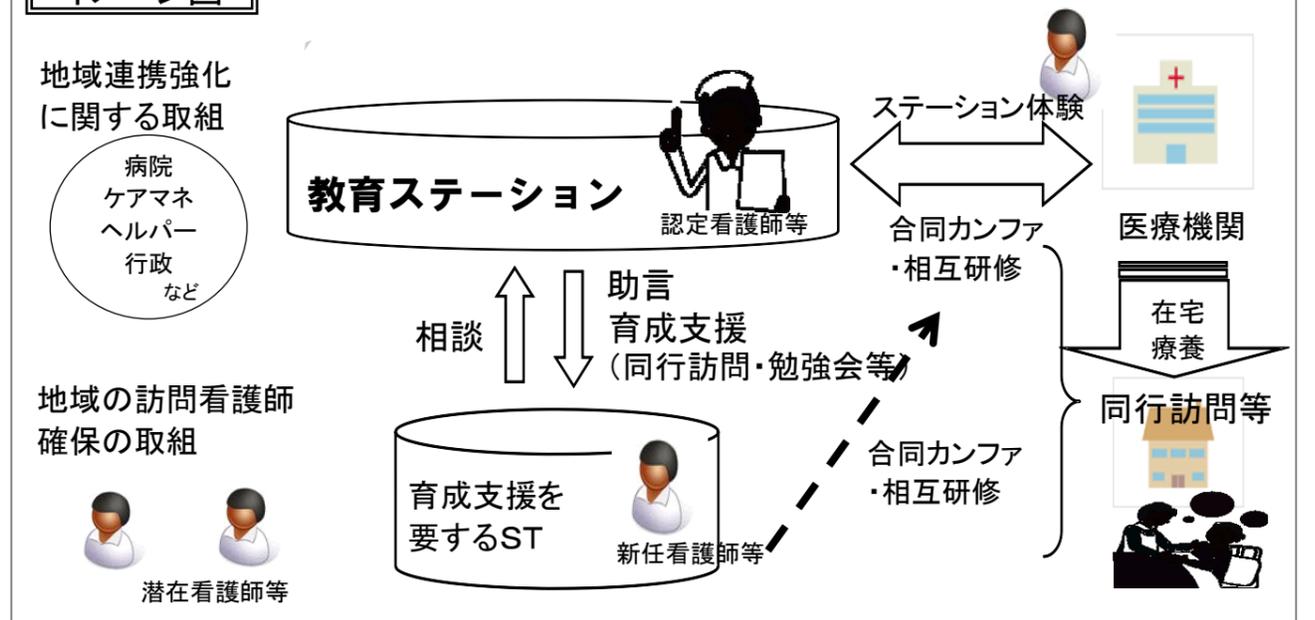
身近な地域において、訪問看護に関心のある看護職に対する訪問看護ステーションでの職務体験や、新任の訪問看護師等の個々に有する知識・経験等に応じた実践的な研修・指導及び助言が受けられる仕組みを整備することにより、訪問看護師の確保・育成・定着を図る

2 事業内容

地域の育成支援を要するステーションのニーズに応じた指導・助言等の育成支援ができ、認定訪問看護師（※）相当の指導者がいる「教育ステーション」を設置し、地域で必要な知識・技術を習得できる研修や地域に密着したきめ細かい相談・助言等を実施

- (1) 訪問看護ステーション体験・研修の実施（同行訪問、勉強会等）
- (2) 地域の医療機関等での、訪問看護師に必要な知識・技術の習得のための研修機会の提供【モデル実施】
- (3) 地域の訪問看護師確保のための取組（就業相談等）
- (4) その他、訪問看護師の育成・定着や地域連携の強化に関する取組

イメージ図



3 実施規模 9か所